



前付けレース

そのレース傾向と舟券

年々減少を続ける前付けレース。しかしながらそこには、ボートレースという競技に深みを与え、思わぬドラマが展開することも…。配当も全般的に高く、舟券的な魅力も秘められている。最近1年のデータを基に、前付けレースの傾向と舟券、そしてそれを演出する選手について考察していこう。



※この特集で使うデータは、2024/3/1～2025/2/28の1年間のレース結果を集計したものです。

前付けレースの傾向

前付けレースの比率は年々減っている。しかしながら平均配当は全レースの数字に比べて高め。前付けがあるレースではインが弱くなり、決まり手でも「まくり」が激増することがわかる。また配当分布を調べても、3桁から1000円台の安い配当が少なく、高配当になるケースが多い。

マスターズチャンピオンでは前付けラッシュ

表1 前付けレース ここ数年との比較

集計年	全レース数	前付けレース数	比率
17年3月～18年2月	54621レース	6124レース	11.2%
	全レース平均配当 7383円	前付けレース平均配当 8353円	
集計年	全レース数	前付けレース数	比率
22年3月～23年2月	55306レース	4739レース	8.6%
	全レース平均配当 7204円	前付けレース平均配当 9737円	
集計年	全レース数	前付けレース数	比率
24年3月～25年2月	55312レース	3913レース	7.0%
	全レース平均配当 7243円	前付けレース平均配当 8395円	

年々減る前付けレース

昨年3月から今年の2月末までの1年間の集計では、前付けがあったレース数は3913レースで、全レースにおける比率は7.0%。そして全レースの平均配当7243円に対して、前付けレースの平均配当は、それよりも1000円以上高い8395円だった。

ちなみに本誌では、8年前と3年前にも同様のデータを集計しているが、その時の数値は表1の通り。前付けレースの比率は年々ダウンしている。徐々に、絶滅危機へ近づいているといっても過言ではないだろう。

表2-1 前付けレースでのコース別1着率

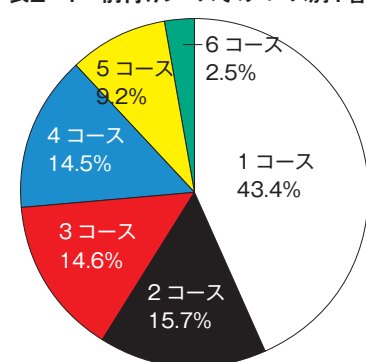
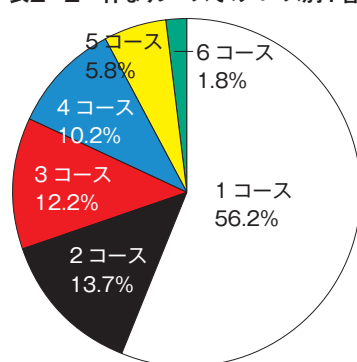


表2-2 枠なりレースでのコース別1着率



13%も落ちるイン1着率！

続いて表2では、コース別の1着率について、前付けレースと枠なりレースの比較をしてみた。枠なりレースでは56%余りの1コース1着率は、前付けレースでは43%台に急落！これは約20年前のレース平均とほぼ同じ数字だ。インが13%減らした分、2・3コースはほぼ2%ずつ、4コースはグンと上がって4%もの上昇。5コースも3%以上上がる。また表3では、決まり手も比較してみた。ここでも前付けレースでは「逃げ」が大幅に減少して41%

表3-1 前付けレースでの決まり手

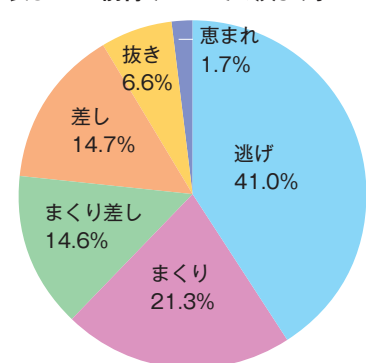
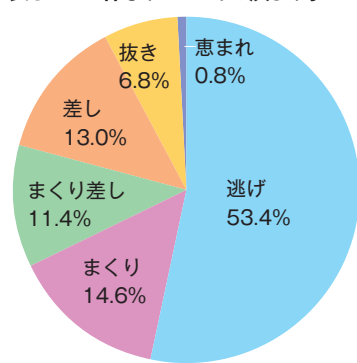


表3-2 枠なりレースでの決まり手



6号艇の時には大外を嫌って進入で動く選手が少なくない



前付けレース そのレース傾向と舟券



結局⑥はインを取り切る



④はあきらめるが⑥は深くなっても内へ



④と⑥の2艇が進んで外から回り込んできた

表4 全レースと前付けレースの配当分布比較

配当ゾーン	全レース	前付けレース
～990円	17.9%	9.8%
1000～1990円	23.9%	20.3%
2000～2990円	12.7%	13.1%
3000～4990円	14.3%	18.1%
5000～9990円	14.2%	17.4%
10000円～	17.0%	21.2%

表4で配当分布を比較しても、前付けレースの配当が高目なのは一目瞭然だ。
まず3桁のレースが10%を切る。1000円台の本命寄り配当も全レースに比較すると少ない。それが3000円から9990円までの、いわゆる「中穴」配当が増え、万舟券も4%以上の増加となっている。

前付けレースでは、スタート展示では進入で動かなかったのに、本番レースでは予期せぬ動きに出る選手も出現。そうしたレースでは大穴になるケースも見られる。

3桁配当は10%割れ

表4で配当分布を比較しても、前付けレースの配当が高目なのは一目瞭然だ。
まず3桁のレースが10%を切る。1000円台の本命寄り配当も全レースに比較すると少ない。それが3000円から9990円までの、いわゆる「中穴」配当が増え、万舟券も4%以上の増加となっている。

前付けレースでは、スタート展示では進入で動かなかったのに、本番レースでは予期せぬ動きに出る選手も出現。そうしたレースでは大穴になるケースも見られる。

表5-1 ニ崎マクール杯 優勝戦

12R (2024/8/2・尼崎)

着	枠	選手名	展示進入	本番進入	ST
1	②	島川 光男	2	2	15
2	③	井上 大輔	3	5	17
3	⑥	山室 展弘	5	4	20
4	④	鰐部太空海	6	6	19
5	⑤	竹田 辰也	4	3	17
6	①	中村 晃朋	1	1	22

2連単 ②-③ 5870円 19番人気 まくり

3連単 ②-③-⑥ 39590円 80番人気

●前付けが2艇以上いる時
前付けをする選手が2艇以上いると、進入が全体的に深くなった、スタート展示と変わったりに波乱の原因となる。

表5-1のレースでは、⑥山室の前付けは予想されたが、スタート展示では⑤の竹田も前付けへ。本番では③井上は5コースへ。インの①中村がスタートで遅れ、②島川がまくり、井上が外から2段まくりで続いてワンツー。3連単は4万円近い大穴となった。

●ビット離れで本番進入に変化
表5-12は、先日のスピードクインメモリアルでのレース。スタート展示では枠なりだったが、本番では⑥上田が抜群のビット離れから4カドに。③松尾がまくりに出て①喜井が抵抗するところを上田が差し切り、超大穴となった。

●超深イン覚悟の選手がいる時
たまに「どこまで深くなくてもイン」という作戦に出る選手がい

前付けレースでの穴パターンを探る!!

表5-2 第1回スピードクインメモリアル2日目

10R (2025/2/20・浜名湖)

着	枠	選手名	展示進入	本番進入	ST
1	⑥	上田 紗奈	6	4	09
2	③	松尾 夏海	3	3	05
3	⑤	三浦 永理	5	6	09
4	②	富樫 麗加	2	2	09
5	①	喜井つかさ	1	1	08
6	④	高田ひかる	4	5	07

2連単 ⑥-③ 36510円 30番人気 まくり差し

3連単 ⑥-③-⑤ 174630円 113番人気

る。その場合、かなり際どいスタートになることが多く、時には大荒れになるケースも見られる。

●1→6コースが意外な穴に
1号艇が逃げたのに万舟になることもある。前付けで2→5コースがゴチャつき、ひよっこりと大外の人気薄選手(新人が多い)が2着にcomingのようなケースだ。

2艇の前付けがあると波乱の要素が膨らむ...





前付けレースの 場別傾向を研究する

前付け発生率1位の浜名湖(左)と2位の桐生

表6 場別前付け発生率

場名	前付け率
桐生	11.0%
戸田	6.0%
江戸川	0.0%
平和島	8.1%
多摩川	4.7%
浜名湖	12.3%
蒲郡	8.9%
常滑	8.9%
津	4.9%
三国	6.8%
びわこ	5.6%
住之江	7.4%
尼崎	7.2%
鳴門	6.8%
丸亀	7.7%
児島	8.1%
宮島	9.4%
徳山	5.9%
下関	9.6%
若松	9.7%
芦屋	8.2%
福岡	7.8%
唐津	10.8%
大村	6.3%

ここからはより実戦的に、場別の傾向を研究していこう。全レースにおける前付け発生率は7.0%だが、前付けが発生しやすい場、しにくい場はあるのだろうか(表6)。

発生率が10%を超えるのは浜名湖(12.3%)、桐生(11.0%)、唐津(10.8%)の3場。浜名湖や唐津はピットからオレンジブイまでの距離が長く、ピット離れの差がコース取りに影響を及ぼしている。一方、桐生はその2場よりピット離れの差がもっと顕著。江口晃生はもちろん、毒島誠、土屋智則、金児隆太らが時々「バナレで飛ぶ」のも同地が地元だからというものが無関係ではないはずだ。

その一方で前付けが少ないのは津(4.9%)、多摩川(4.7%)。そしてみなさんも予想したであろう江戸川は前付けゼロ。あの石川真二や西島義則さえも枠なりで進入していた(いずれも当地優勝実績あり)。

ピット離れの距離と 前付け発生率

前付け発生で穴党天国

続いて21ページの表7をご覧ください。これは場別の前付けあり時の成績をまとめたもの。インの1着率が50%を超えるのは下関、若松、大村の3場のみ。偶然だろうか、ミッドナイト実施場である。

現状イン日本一の徳山も前付けがあるとその信頼度は44.6%まで下がる。2.4コースの1着率が大幅にアップするが、前付けがあっても舟券は変わらずインから売れる。その結果、平均配当は9590円と高い。徳山は穴党にとって鬼門のレース場だが、前付けがあつた時には一転して天国に変わることを頭に入れておきたい。

元タインが弱い戸田や平和島は、前付け発生時はより本来の姿に近づく。この他、浜名湖、常滑、三国、びわこ、鳴門、宮島は30%台までイン信頼度が下がる。それによって他のコースが狙い目になるが、それは次のランキングで確認いただきたい。



江戸川の前付けはゼロ



唐津はピット離れが重要

前付レース そのレース傾向と舟券

表7 前付けあり時場別成績

		桐生	戸田	江戸川	平和島	多摩川	浜名湖	蒲郡	常滑	津	三国	びわこ	住之江
進入	1	49.6%	28.6%	0.0%	30.2%	42.7%	39.1%	44.3%	38.7%	42.0%	38.4%	33.1%	45.4%
	2	11.2%	19.5%	0.0%	20.1%	11.7%	19.2%	13.0%	15.2%	12.5%	17.2%	15.3%	16.6%
	3	14.3%	18.0%	0.0%	15.1%	16.5%	15.5%	16.7%	18.3%	19.6%	17.9%	20.2%	10.4%
	4	15.2%	18.0%	0.0%	20.8%	16.5%	15.1%	15.6%	16.8%	10.7%	13.9%	18.5%	15.3%
	5	8.5%	12.8%	0.0%	9.4%	11.7%	10.0%	7.8%	8.9%	10.7%	9.3%	9.7%	9.2%
	6	1.3%	3.0%	0.0%	4.4%	1.0%	1.1%	2.6%	2.1%	4.5%	3.3%	3.2%	3.1%
配当	3ヶタ配当	7.1%	4.5%	0.0%	3.1%	8.7%	8.5%	14.6%	9.9%	7.1%	11.9%	8.1%	14.1%
	万舟率	14.7%	25.6%	0.0%	23.3%	17.5%	24.4%	19.3%	20.4%	26.8%	27.2%	19.4%	22.1%
	平均配当	6889円	9113円	0円	8025円	6530円	9758円	7236円	8333円	8514円	11717円	6900円	12767円
決まり手	まくり率	19.2%	36.8%	0.0%	25.2%	23.3%	20.3%	20.8%	25.7%	17.0%	17.9%	22.6%	20.9%
	まくり差し率	13.4%	10.5%	0.0%	18.2%	18.4%	19.2%	20.3%	12.0%	17.0%	17.9%	24.2%	12.3%
	差し率	12.9%	15.8%	0.0%	22.6%	9.7%	14.0%	9.9%	18.8%	13.4%	20.5%	16.1%	13.5%

		尼崎	鳴門	丸亀	児島	宮島	徳山	下関	若松	芦屋	福岡	唐津	大村
進入	1	46.3%	32.6%	48.0%	49.7%	39.2%	44.6%	52.4%	56.5%	43.2%	42.6%	48.1%	52.1%
	2	17.7%	20.6%	15.8%	14.0%	17.2%	19.6%	12.1%	14.0%	11.9%	13.6%	17.4%	17.1%
	3	10.9%	16.3%	11.7%	13.5%	15.8%	8.9%	12.1%	13.0%	20.5%	13.0%	10.6%	11.0%
	4	13.6%	14.9%	12.9%	16.4%	14.4%	16.1%	9.2%	8.0%	13.6%	16.6%	12.3%	12.3%
	5	6.1%	14.2%	8.8%	4.7%	10.5%	8.9%	11.7%	6.5%	6.3%	12.4%	9.4%	6.2%
	6	5.4%	1.4%	2.9%	1.8%	2.9%	1.8%	2.4%	2.0%	4.5%	1.8%	2.1%	1.4%
配当	3ヶタ配当	6.8%	7.8%	7.6%	11.7%	8.6%	16.1%	12.1%	12.0%	8.5%	11.8%	10.2%	12.3%
	万舟率	29.3%	22.7%	21.1%	16.4%	20.1%	25.9%	18.4%	18.0%	22.2%	20.1%	20.9%	19.2%
	平均配当	9568円	9093円	7141円	6527円	7687円	9590円	6751円	8836円	9359円	6694円	9004円	7497円
決まり手	まくり率	20.4%	28.4%	15.8%	21.6%	27.8%	17.0%	16.5%	19.0%	25.0%	24.3%	13.2%	19.2%
	まくり差し率	15.6%	14.9%	15.2%	12.3%	11.5%	10.7%	14.6%	8.5%	13.6%	12.4%	16.6%	8.2%
	差し率	12.9%	17.0%	15.8%	12.3%	16.7%	19.6%	10.7%	11.5%	13.1%	13.0%	17.0%	13.7%

コース別最高1着率場

- 1コース 若松(56.5%)
- 2コース 鳴門(20.6%)
- 3コース 芦屋(20.5%)
- 4コース 平和島(20.8%)
- 5コース 鳴門(14.2%)
- 6コース 尼崎(5.4%)

前付けがあってもレース傾向が極端に変化しないのが若松。これは待機行動時間が1分40秒と短いため、前付けがあってもあまりインが深くないことが影響しているのではないだろうか。

イン以外は満遍なく数字が散っている印象。前付け選手の入り方にもよるが、助走距離がたっぷり取れる4コースのカドは多くの場で数字がアップしているし、その仕掛けに乗る5コースも同様。やはり「前付けはカド」は常に意識しておきたい。

万舟率ベスト6

- 1位 尼崎 (29.3%・9,568円)
- 2位 三国 (27.2%・1万1717円)
- 3位 津 (26.8%・8,514円)
- 4位 徳山 (25.9%・9,590円)
- 5位 戸田 (25.6%・9,113円)
- 6位 浜名湖(24.4%・9,758円)

※%は万舟率、円は平均配当

前付け発生時はどの場ももちろん波乱傾向となるが、このベスト6はそれがより顕著だ。普段、本命傾向が強い場ほど荒れるようで、前述の徳山同様、ベスト3の尼崎、三国、津はまさにその典型。ランキングには入らなかったが、平均配当においては、住之江の1万2767円が全国トップ。枠なり時は7,155円なので、前付けが起るだけで5,000円も配当が跳ね上がる。穴党は気合いを入れて臨みたい。

各種決まり手ベスト3

- まくり
 - 1位 戸田(36.8%)
 - 2位 鳴門(28.4%)
 - 3位 宮島(27.8%)
- まくり差し
 - 1位 びわこ(24.2%)
 - 2位 蒲郡(20.3%)
 - 3位 浜名湖(19.2%)
- 差し
 - 1位 平和島(22.6%)
 - 2位 三国(20.5%)
 - 3位 徳山(19.6%)

イン逃げ以外の発生率上位をまとめたもの。それぞれが持っていたレース場の個性が色濃く反映されたと言っていいだろう。

コース幅が狭い戸田や鳴門はいつも以上に一気のまくりが決まりやすくなる。ターンマーク移設前のびわこは差し系の決まり手が強かったし、元々差し水面の平和島や三国も本来の持ち味が発揮される。

江口晃生は北関東の伝統を受け継ぐ差しの名手だ

前付け選手の買い方を考えるー

数が少なくなったとはいえ、前付け選手から買う舟券も大ありだ。各選手の戦法がわかりやすいし、初日と最終日に強く、地元ではさらに積極的に進んで動くなど、買える条件が揃っている。とくに穴党は食指が動くに違いない!

戦法はまくりか差しか!?

下の囲みで主な前付けの強豪選手を紹介しているが、決まり手を見るとその選手の戦法がわかりやすい。ちなみにどの選手も「逃げ」は50%前後を占めている。

◎「まくり」多用選手の例

- ・西島義則(27・5%)
- ・田頭実(24・6%)
- ・間嶋仁志(23・5%)
- ・大神康司(28・6%)
- ・林美憲(30・2%)
- ◎「差し」多用選手の例
- ・江口晃生(31・5%)
- ・石川真二(30・6%)
- ・吉川昭男(26・8%)
- ・深川真二(23・8%)
- ・赤岩善生(20・3%)

初日と最終日に注目を!

前付け選手の日別成績を抽出してみると、初日と最終日に好成績を残している選手が比較的多い。

初日はまだスタートをつかめていない選手(とくに遠征組)が多いが、前付け選手の場合は各レース場での起こし場所やスタートをつかんでいるケースが多いからだと考えられそう。

また最終日の成績が比較的良好なのは、他の選手は最終日(とくに敗者戦)は無難なレース運びになりがちで、前付け選手に対するマークが比較的緩くなり、コース取りも予選の時よりスムーズになるからではないか。

前付け選手をタイプ別に分類すると……

前付けをする強豪選手をあえてタイプ別に分けると、下の表8のように分けられるだろう。

●Aタイプ：ほぼ2コースまで

『史上最強のイン屋』と称している西島義則に、年間で3コース進入さえめつたにない江口晃生と今村暢孝。どんなに深くなっても2コース以内を取りに行く。

●Bタイプ：ほぼ3コースまで

Aタイプよりは若干の融通性があるものの、こちらも3コースまでが絶対。

ちなみにA・Bタイプの選手は、どれだけ深くなくてもスタートでドカ遅れすることはまずない。とくに西島と田頭は歴代のフライング王に近づいており、これまで何度でもF禍で苦勞を味わってきたが、それでもなお緩めることはない。

●Cタイプ：ほぼ4コースまで

A・Bほどガチガチの内タイプではないけれど、4コースまでには入りたいという面々。仲口博崇・正木聖賢らもこのタイプだ。

●Dタイプ：6コースは避ける

「大外6コースだけは避けたい」、そのために6号艇ではまず動くという選手は意外に多い。服部幸男などはその典型だが、松井繁も数年前まではやはり6号艇で必ず動いていた。

ちなみにこの表6では現在の強豪選手を掲載したが、西田靖(Aタイプ)・藤丸光一(B)・金子良昭(C)ら、往年の強豪たちも忘れてはならないだろう。

表8 前付け強豪選手のタイプ

タイプ	進入コース	各タイプの選手例とコース別進入回数									
		登番	選手名	1	2	3	4	5	6	合計	勝率
A	ほぼ2コースまで	3024	西島 義則	105	186	10	2	2	1	306	6.79
		3159	江口 晃生	54	120	1	0	0	0	173	7.06
		3265	今村 暢孝	45	93	3	0	0	0	143	6.40
B	ほぼ3コースまで	3257	田頭 実	48	115	22	4	1	0	189	6.69
		3473	石川 真二	107	175	46	8	3	2	340	6.78
		3623	深川 真二	73	133	36	0	0	0	241	7.53
C	ほぼ4コースまで	3070	山室 展弘	22	44	25	15	2	0	107	5.53
		3582	吉川 昭男	60	93	88	32	0	0	271	6.39
		3946	赤岩 善生	71	130	65	32	9	3	310	6.99
D	6コースは避ける	3422	服部 幸男	54	37	44	47	42	8	233	6.71
		3743	林 美憲	66	54	66	57	24	4	270	6.86
		4199	北川 潤二	59	76	67	62	12	1	276	6.21

4コースまでには入りたい赤岩善生



前付けレース そのレース傾向と舟券

表9-1 林美憲が鳴門で前付けをした時の合計成績

着	回数
1	7
2	5
3	7
4	3
5	3
6	1
失格	1
合計	27



結局内2コースを5・6号艇が占め、5612/34の進入に



ピット離れから早くも5・6号艇が前付けに動く

表9-2 林美憲が鳴門で前付けをした時の詳細成績

日付	艇番	進入	着順	決まり手
24/4/19	6	2	5	
5/4	5	2	3	
5/6	6	2	4	
5/8	6	3	4	
5/9	6	4	2	
5/31	5	2	1	まくり
6/2	6	3	1	まくり差し
6/3	5	3	5	
7/3	5	3	2	
8/11	6	4	3	
8/13	5	3	3	
8/14	6	3	1	まくり
10/9	6	2	3	
10/10	5	2	4	

日付	艇番	進入	着順	決まり手
10/11	6	3	2	
11/8	5	4	3	
11/9	6	3	1	まくり
11/11	6	5	5	
12/6	6	5	3	
25/1/1	5	4	2	
1/9	6	3	6	
1/10	5	3	1	まくり差し
1/11	5	2	1	まくり
1/12	6	3	1	まくり差し
2/24	5	3	2	
2/25	6	3	3	
2/26	6	4	失	

地元では進入が積極的になる
 バリバリの前付け選手ではないが、メンバーや水面次第では進入で動くという選手もいる。そうした選手の動向を追うと、地元では進入が積極的になる傾向があり、そして成績も良くなる。
 その例として、鳴門における林美憲を取り上げてみよう。林はこの1年で鳴門を108走も走ったが、5・6号艇だったのが33回あり、そのうち27回進入で動いた。



前付けの未来を背負う? 池田奈津美

最若手の前付け屋・池田奈津美はA級近し
 現在最も若い前付けレーサーは、女子の池田奈津美（登番4874・31歳）といつてよいだろう。3年前の夏頃から少しずつ内への進入をするようになって成績は上昇。勝率は5点台に乗せて、A級も見えてきた。現在では、女子戦ではもちろん、混合戦でも果敢にコースを取りに行く。
 表10は昨年11月の児島混合戦だが、この節の池田は艇番より内に入るレースがここまで3戦あり、それぞれ423着。最終日に6号

表9-1はその成績で、5着以下の大敗は5回しかない。その一方で、3連対率は70%を超える。
 表9-2ではその成績詳細も掲載した。他の場で動く時は内2つまでのことが多いが、鳴門では3コース内に入ることも多く、7勝のうち6勝は3コース内に入った時。また7勝中4勝は「まくり」、3勝が「まくり差し」で、「差し」は1本もないのが林の戦法の特徴でもある。

表10 児島・一般戦3R (最終日・2024/11/5・児島)

着	枠	選手名	展示進入	本番進入	ST
1	⑥	池田奈津美	1	1	03
2	①	木村 光宏	2	2	14
3	⑤	三嶋さらら	6	6	07
4	③	松田 憲幸	4	4	11
5	④	峰重 力也	5	5	06
6	②	齋藤 和政	3	3	13

2連単 ⑥-① 2200円 7番人気 逃げ

3連単 ⑥-①-⑤ 20940円 74番人気

艇が回ってきたが、スタート展示から前付けに出て、実績と人気が断然の1号艇・木村光宏からインを奪取。本番でも03からの果敢なトップスタートで逃走を決めて、2万円超えの大穴を提供した。
 数少ない若手の前付け屋だけに、さらにテクや整備を磨いて、個性派として育ってもらいたいものだ。

地元の鳴門では進入が一層積極的になる林美憲

